

地域に密着した医療を提供し、
安心して暮らせるまちづくりに
貢献します。



高原町立病院
です

感謝を胸に

飛躍の年へ

撮影場所：高千穂峰山頂

春風待ち望む今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。院長の池田です。国民健康保険高原病院広報誌「ひがのぼる」第3号を刊行することとなりました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、様々なところで影響が出ました。東京オリンピック開催の延期や緊急事態宣言などもそれに挙げられ、改めてすごい経験をしたものだと感じております。年末年始を例年と違った感で過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。本当に大変な1年だったと思っております。

当院においても病院受診や入院、退院、面会等の多くの面で皆様方に不自由をおかけしたと思います。すべては職員や患者様の感染予防のために必要なことを、県内や県外の感染流行状況等を確認しながら、院内の感染対策チームで定期的に会議を繰り返して決定しております。今後ともご協力をお願いすることが多いとは思いますが、何卒よろしく願います。

また、県立看護大学邊木園幸准教授による感染症に関する講演会や研修会を職員全員が受けたことにより、職員は成長し、団結が強まり、頼もしくなってきたと感じております。加えて、小林保健所や小林市立病院、えびの市立病院、医師会との協議会もたびたび行われ、西諸県圏域の医療機関の連携も強まりました。大変ではありましたが悪いことばかりではなかったと感じております。

今年もどうなるかまだはつきりとしたことは言えませんが、高原町立病院でできる事を職員一丸となりやっつけていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



広報誌作成メンバー

病院へ寄付金を頂きました。ご支援いただいた寄付金で、当院オリジナルポロシャツを作り、団結力を高めました。地域へ愛される病院を目指し、職員一丸となって精一杯頑張ります！！

2021 高原病院 年 外 来 担 当 医 一 覧

受付時間 午前8:00~11:30 午後1:30~4:30

新型コロナウイルス
感染対策実施中

マスク着用をお願い



風邪症状のある方は必ず来院前に電話
でお問い合わせください。

当院は電話診療による
処方箋の発行が利用できます

☎ 0984-42-1022

ご不明な点は
ホームページまたは、
お電話にてご確認ください

(注) 電話診療は新型コロナウイルス感染症の
拡大防止対策の臨時的な取り扱いとなります

整形外科再開

令和3年1月6日(水)より

新年より整形外科の先生が着任されました。
毎週水曜日と金曜日が診察日になっています。

体のお悩み

ありませんか?

お気軽にご相談ください!!

しばの けいすけ
柴野 恵介先生

御提供のお礼



素敵な
プレゼント
ありがとう
ございました♡

クリスマスカード

地域医療を考える会の皆さん
小林ジュニアアスリートクラブの子供たちの皆さん

※担当医が急きょ変更になる場合がございます。来院前に
ホームページやお電話にてご確認くださいようお願いいた
します。

※土曜日は午前診療のみ 日曜日、祝祭日は休診
(但し、救急の患者さんはこの限りではございません)

※正面玄関は、8時に開錠・17時15分に施錠します。時間
外は夜間通用口にて対応いたします。

令和3年2月15日現在

受付時間	診療科	月	火	水	木	金	土
午前 8:00 ~ 11:30	内科	長島	長島	長島	長島	長島	長島
		蛭原	蛭原	蛭原	蛭原	蛭原	
		高岡	高岡				
		網谷		山下	網谷	山下	
午後 1:30 ~ 4:30	外科	池田	池田	池田	池田	池田	池田
		午前のみ	8:30~ 9:00	8:30~ 9:00	8:30~ 9:00	8:30~ 9:00	第2~5週
					堀		堀
				幸本			第1週
	整形外科			柴野		柴野	
	循環器内科		濱田				
			※要予約				
	肝臓内科						鹿児島大学
							要予約
呼吸器外科						森山	
						第3週 (要予約)	
消化器内科					松田		
					午前のみ		
訪問診療	池田	池田	池田	池田	池田		
					午前のみ		

高原町立病院元気化プロジェクト 会議(第二回)が開催されました



会議では、町や病院に対して様々な意見や要望をいただき
ました。経営の改善に全力で取り組み、これからもみなさん
が安心して暮らせる町づくりに貢献致します。

後記

広報誌第3号を発行させていただきました。今年の干支は「丑」、牛の特徴は『粘り強さと誠実』です。
また「紐」という漢字に『丑』の字が使われており、人々の間を『結ぶ』存在であるという意味も込めら
れています。馬に乗るまでは牛に乗れといいますが、1人1人が自覚を持ち何か出来ることから取り組
み、日々の努力が牛のような大きな成長へと繋がるように職員一同、信頼回復・経営改善に取り組んで行
きます。今年も地域住民の皆様への感謝を胸に、選んでいただける病院を目指します。「ひがのぼる」を
ご覧いただき、高原病院を身近に感じていただければ幸いです。

広報部 地域連携室 新田 彩

高血圧外来 安い



初めまして、循環器内科の網谷と申します。
本日は、高血圧症について少しお話したいと思えます。
高血圧症はメタボリック症候群の1疾患であり、他の糖尿病、脂質異常症、肥満と共に、動脈硬化を促進させ、早期に血管が閉塞する疾患(脳梗塞や心筋梗塞)の一因となる病気です。しかし、余り重大視されない傾向があります。その最大の原因は、“無症状である”という事です。

私は昭和60年に医師免許を取得致しましたが、その頃の教科書には、血圧が上がると、頭痛・鼻血・耳鳴り・めまい・ふらふら等の症状が出ると書いてありました。しかし昭和の終わりに疫学調査が行われた結果、“高血圧症は無症状である”と判明し、平成7年頃以降に出版された教科書にはその旨記載されるようになりました。本来血圧は無症状ですので、患者さんが病院に行って治療をしようというモチベーションがありません。逆に頭痛・鼻血・耳鳴り・めまい・ふらふら等の症状があると当然病院を受診される訳ですが、殆どの場合交感神経興奮状態ですので、血管が収縮して血圧は上昇します。高血圧症とは一過性に血圧が上昇する事ではなく、通常の高血圧測定で血圧が下がらなくなった(常に高い)状態の事であり、家庭血圧を測定する必要があります。ところが、現役でご活躍中の先生方の多くは、“症状がある”と習って卒業されたために、無症状である患者に内服をさせる事をためらうケースも見受けられます。(血圧が高い方に“どうもありませんか?”と聞いてはいけません。無症状ですから)

特に若年性高血圧症(男性で50歳以前、女性でも60歳以前に発症した高血圧症)の患者さんに対しては、“もう少し様子を見ましょう”と投薬をためらう傾向にあります。しかし、一般的に50歳から高血圧症を発症した方は、10年~20年後(70歳がピーク)に脳梗塞や心筋梗塞を発症しているのです。つまり、30歳から血圧が上昇した患者さんで、無症状を理由に加療を行わなかった場合、50代でほぼ間違いなく合併症を発症するという事です。40代・50代といった本来働き盛り、一家の大黒柱的存在が、一瞬にして障害が残る、或いは死亡するという事です。

私は循環器内科医師として、約27年間心筋梗塞の救命に当たってきましたが、その間に不幸に陥る家族を何例も見てきました。60歳を前に現役引退致しましたが、今後の目標はこういった不幸な家族を作らせないという事であります。

日本は昭和に健診制度を充実させ、無症状の高血圧患者を早期に見つけ、治療を促す事で脳梗塞や心筋梗塞をかなり減らす事が出来るようになりました。しかし、“血圧が上がると具合が悪くなる”という迷信のせいで、治療を受けていない若年性高血圧の患者さん(恐らく働き盛りで忙しく、病院に行く暇などない方々)がまだ数多くいらっしゃいます。当院では毎週月曜日に高血圧外来を開設しています。そういう患者さんがそばにおりましたら、是非一度話を聞くように勧めてあげて頂けないでしょうか。宜しくお願い申し上げます。

早期診断
早期治療

働き盛りの30代~50代 毎週月曜日
の方を対象に 14時~16時まで

※予約制です

私が詳しく説明します!

循環器内科
網谷 滋 医師



- ① なぜ治療が必要か
- ② 高血圧症の怖い所
- ③ 正しい血圧の測り方

